

顎変形症術前後の顎骨形態及び顎運動機能への影響の検討

1. 研究の対象となる方

2018年1月～2029年12月までの間に顎変形症の診断の下に全身麻酔下で顎矯正手術を実施した患者様。

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2030年12月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

2025年2月

4. 研究の目的

この研究では、顎変形症の手術が顎の形や動きにどのような影響を与えるのかを調べます。手術前後のCT画像や咬み合わせの変化を分析し、さらに口の動きや舌・唇の力を比較検討することで、手術の効果を詳しく評価します。研究の結果を活かし、手術後の回復をよりスムーズにし、将来的により安定した治療方法を確立することを目指しています。これにより、術後のトラブルを減らし、より良い治療計画を立てることができるようになります。

5. 研究の方法

この研究は、顎変形症の手術を受けた患者さんのデータをもとに、手術前後の変化を調べるものです。手術前と手術後の画像検査や顎の動きの検査結果を比較し、手術がどのように影響したのかを詳しく分析します。これにより、より良い治療方法を見つけ、今後の手術やりハビりに役立てることを目的としています。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療記録(性別、年齢、MRI画像、口腔機能検査(舌圧測定、咬合力測定、顎運動機能)等

試料：該当なし

7. 研究組織

【研究責任者】

所属：山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座 職名：教授 氏名：上木耕一郎

8. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

9. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

10. 利益相反について

本研究は、歯科口腔外科学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

11. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

研究責任者 山梨大学医学部歯科口腔外科学講座 教授 上木耕一郎

〒409-3898

山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 歯科口腔外科学講座

Tel : 055-273-1111